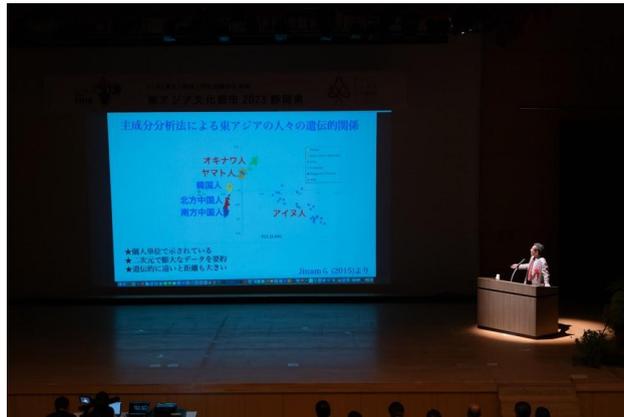
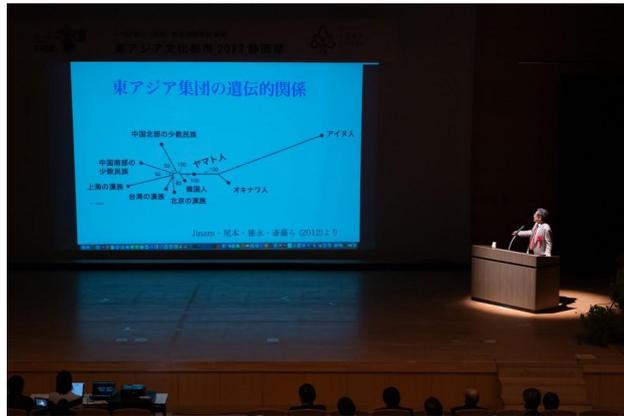


東アジア文化都市2023静岡県専門協働プログラム  
「東アジアDNAの源流と、文化・芸術の多様な未来」実績報告書

1 実施内容

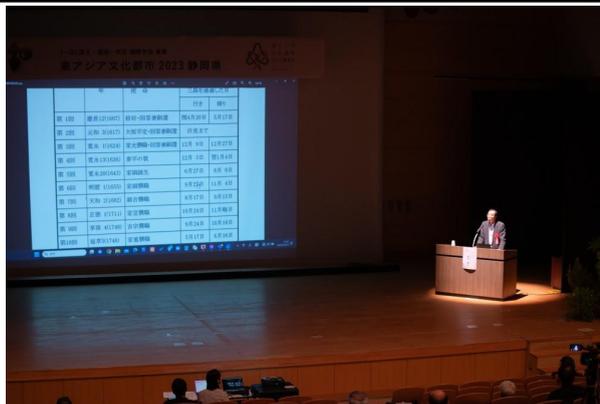
日時	令和5年 10月 14日(土) 10時～ 16時30分
会場	施設名 韮山時代劇場(伊豆の国市)
入場者数	110人
実施内容・成果	<p>開催メインテーマでもある「東アジアDNAの源流と、文化・芸術の多様な未来」について、2名の研究者によるテーマトークと当学会の研究テーマでもある「地域DNA」についての基調講演を行いました。後半は、「東アジア文化都市と伊豆」をテーマに、文化・芸術・クリエイティブ・産業・観光資源など、多様な視点と切り口で国際的理解を深めるとともに、「未来」に向けての示唆を各界の先生方にディスカッションしていただきました。</p> <p>【来賓祝辞】</p>   

【テーマトーク】(1)「遺伝子解析からみた東アジアの民族関係」  
講師 国立遺伝学研究所 特任教授 斎藤 成也 氏



【テーマトーク】(2)「東アジアと伊豆の歴史」  
講師 伊豆学研究会 理事長 橋本 敬之 氏





【基調講演】 富士箱根伊豆国際学会会長 五條堀孝



### 【パネルディスカッション】

#### 「東アジア文化都市と伊豆」

パネラー 奥村 昭博 氏・竹下 誠二郎 氏・斎藤 成也 氏・橋本 敬之 氏

コーディネーター 渋谷 浩史 県理事



#### <成果、課題、今後の展望>

静岡県東部は、世界ユネスコ文化遺産に登録され10周年の節目を迎えた富士山と、ユネスコ世界ジオパークに再認定された伊豆半島を有する地域です。この度「東アジアDNAの源流と、文化・芸術の多様な未来」を開催テーマとし、DNA研究の世界的権威である当学会会長、五條堀 孝による企画・監修のもと、東アジアの源流を遺伝子レベルで紐解き、東アジアと伊豆の歴史的關係性を理解した上で、多種多様な文化芸術発表、異文化理解・国際親善の促進に寄与し継続的に発展する事を目的に開催しました。

今後は東アジア文化都市のレガシーを地域で継承するとともに、ユネスコ憲章にある「教育、科学及び文化を通じて諸国民の間の協力を促進することによって、平和及び安全に貢献すること」は、本学会にとっても志を同じくするものですので、引き続き学際的かつ実学的視座のもと、国際拠点の創造を通じて新しい世界観を示していけるよう努めて参ります。

◆日中韓展示 担当者：坂田芳乃、都築透  
協力 沼津市庄司美術館(モンミュゼ沼津)

<実施内容>

日本・中国・韓国の3か国において、文化芸術による発展を目指し、文化交流、文化芸術イベント等を実施することで アジア域内の相互理解・連帯感の形成を促進するとともに、東アジアの多様な文化の国際発信力の強化を図りました。東アジア文化都市2023静岡県事業に呼応し、様々な時代をまたぐ「日中韓の文化芸術や学術」を紹介しました。

具体的には「東アジアDNAの源流と、文化芸術の多様な未来」をテーマとする、富士・箱根・伊豆国際学会フォーラム等に参加者に、日中韓の文化芸術に触れる機会を提供しました。



会場舞台を展示場として設置し、以下の資料、作品等の展示を行いました。

#### 1 日本 平成上皇陛下によるハゼの出版論文などの資料



壁掛けタペストリー(原画:木下勝功)  
縦2m×横1m 7曲で構成された手刺繍工芸品)



2 中国 孫氏兵法の竹簡(孫氏の兵法書の竹簡写本)  
唐物茶碗





3 韓国 新羅金冠(復元品)  
6世紀皇帝金冠(国宝188号)の实物大復元品



また、現代美術作品展示として、大ホールロビーにて現代美術家であり演奏家の白砂勝敏氏ご協力のもと、海で繋がる東アジアとSDGsをテーマに、海岸漂着物の作品などを展示頂きました。



イベントでは、中国・韓国ご出身の方からお手伝いを頂き、スタッフ間でも日中韓の文化交流が実現され、中国チームの皆様からは展示協力も頂きました。



#### <成果、課題、今後の展望>

本事業において、「文化芸術」表現について、日中韓のコレクションを所蔵するコレクターから展示の申し出を受けました。

展示をするにあたり、作品をより良い状態で展示する機能（展示空間、展示機材、セキュリティ他）及び専門性が十分とは言えなかったとはいえ、東アジア文化都市のテーマ性を来場者に伝えることができました。

当団体の活動範囲から考慮すると、今回のような芸術作品の展示を検討する場合は、専門分野のアドバイスを受けることも検討したいと思います。